

令和7年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月17日～11月25日



～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
福岡支部



掲載している写真・氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。

修了おめでとうございます



修了者へ贈る言葉

令和7年度介護労働講習修了、誠におめでとうございます。

皆様のご協力のおかげで最後まで50名ひとりも欠けることなく修了式を迎えることが出来ました。悩みながらも目標を持って最後までやり通した皆様に心から敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

座学、演習、修了評価と、慣れない日々に戸惑いを感じた事もあったかと思えます。毎日が慌ただしく過ぎていく中でも、一人ひとりが現状と向き合い、着実に目標に向かって行動されるお姿にこちらが背中を押されるような思いでした。

介護・福祉の業界は日々変化し、私どもも含め多様なニーズに対応できる専門性とスキルが求められています。慣れない環境でのお仕事は楽しいことばかりではないかと思えます。その中でも変わらず「学ぶ姿勢」を大切に、新しい挑戦や継続することの楽しみ、喜びを見つけて欲しいと思います。

まずは健康を第一に、各々の職場でのご活躍を祈っております。

福岡支部職員一同

講習風景

講義

実務者研修修了に向けて専門的な知識とスキルを学びます。



- 実務者研修科目
- 通信レポート
- 実践講習
- 介護現場実習
補足講習

etc ...

経験・知識ともに豊かな講師陣から受ける講義は、介護のイメージをアップデートさせてくれるはずです。座学だけでなく、グループワークや体験学習を通して介護の基本を身に付けます。



初めに驚いたのが講師の人数です。科目別の担当でそれぞれから実体験に基づいたお話をいただきました。テキストだけでは得られない知識を知ることができました。

令和7年度修了者

講 習 風 景

実技演習

専門の講師を迎え、介護技術の基礎を身に付けます。



- 生活支援技術
- 介護過程
- 医療的ケア

etc...

ボディメカニクスを知ること、足先の向き、姿勢の高さ、密着度の違いなどほんの少しの違いでこんなにも動作がスムーズになり、さらには要介助者へのケガのリスク軽減や心理的負担の軽減につながるなんて思いも及びませんでした。とても勉強になりました。

令和7年度修了者

技術だけでなく、声掛けの必要性や相手との距離感など、手技の基礎と考え方を身に付けます。



講 習 風 景

就 職 支 援

介護事業所や就職支援機関と協同して、早期の就職をサポートします。



- 就職講話
- 介護現場の実際
- 施設見学
- 就職面談会



事業所や受講者OBから「介護現場の声」を聴くことができます。就職の選択肢を広げ、目指す道を明確にしていきます。



自分が何に向いているのかわからず、就職先を条件だけで探していましたが、現場実習での体験で自分がやりたい仕事は何なのか見えてきました。修了間際に自分のやりたいことが見つかり、たまたま自分の望む仕事の求人を見つけ、見学・面接ととんとん拍子に進み採用の連絡があったときはとてもうれしかったです。

令和7年度修了者



講習を終えて

今年50名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

講習中に交した励ましの言葉や何気ない会話は昔に戻ったかのように楽しかったです。この年齢になって新しい仲間ができたことは貴重で、6ヶ月という短いけれど濃い時間が自分にとって大きな転換期になったと感じています。

ここで築いた関係がこれからも続いていくことを心から願っています。

最後の現場実習に行った際に、もし勉強する前だったらただ利用者の方に優しく声をかけ、過剰な介助をしていたと思います。自立や自律、尊厳を考えず、自分の気持ち押し付けていたかもしれません。

この講習で学んだことは介護に対する考え方を根本から正しい方に導いてくださいました。

講師のお話が楽しく、興味をそそられ、気が付くと一緒に笑いながら難しい内容も覚えることができていました。実習や演習は苦手でしたが、周囲の仲間助けられ何とか一つずつクリアしていきました。

いつの間にか講習に行くのが楽しみになっており、最後まで1日も休むことなく通い続けることが出来ました。

介護職とは身体介護や生活援助を通じて支援する専門職です。ただこの半年間勉強して最後に思ったことは、介護を必要とする人に対して介護職である前に人としてどう接するべきかということです。

人としての心を忘れないでいることを念頭に、この仕事に関わっていきます。

グループワークを通して他の方の意見を聞き、自分にはない視点や考え方を知ることが出来た時に自分の視野が広がったように感じました。現場は忙しく、甘くないと思います。6ヶ月間ともに勉強した仲間やセンターの方々を思い出し、時には相談させてもらいます。

心の拠りどころが出来たのかなと思います。



就職先を訪ねて



清永 格子 さん
令和6年度修了者

介護労働講習で学んだことは？

介護職に就くにあたり、介護についての最新の知識や技術、心構えを学ばせて頂きました。また人としての在り方を学ばせてもらえる場面もありました。日々、色々な刺激があり、一つ一つの学びが興味深く、楽しく学ぶことができました。

講習内容などについてのご感想は？

各ジャンルのエキスパートの方が、日替わりで講師として来てくださり、本当に夢のような講習でした。大人になって学び直しが出来ること、年を重ねてからの昔のような生活が再び出来たことが、とても嬉しく楽しい日々でした。介護福祉士の国家試験に向けて、少しずつ積み重ねて学習を進めてもらえたこと、細かく試験を実施しながら理解を深めていけたことは、とても力になりました。また実技講習や試験も、とても難しいと感じましたが、皆で苦勞しながらやっていったので、しっかり覚えることも出来たし、すごく良い思い出です。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

しばらく空白はありましたが、以前経験した仕事ということもあり、楽しく働いています。ただ、同じ仕事でも、場所、事業所により、やり方や方針が違う事もあます。また色々な方と働くことになるので、その都度学ぶことも多く日々勉強だと感じます。悩みや困りごとは職場で共有しながら、消化したりフォローしてもらったりしながら日々頑張っています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

年齢や性別、環境も様々で色々な人が居て、皆前職での経験・思い・苦勞があった上で同じスタートラインに立ち学びを進めていく—
この経験がとても貴重で素敵なことだと思いました。また受講しながら再就職に向けてのフォローや、サポート体制もしっかりしていて、本当に心強かったです。
私の経験した半年を、是非たくさんの方に経験してほしいです。

～事業主さまから一言～

社会福祉法人正松会 理事長 岡松 正和 様
グループホーム椿の里 管理者 宮嶋 久枝 様

普段の仕事ぶりはいかがですか？

明るい笑顔とコミュニケーション能力の高さで、入職してすぐから利用者の皆様に受け入れられ、他業種での経験を活かしてレクリエーション等も工夫しながら、積極的に仕事に取り組む様子を見て、実習の時に感じた期待は間違いではなかったと確信しました。まだすべての業務を教えられていないうちに、コロナ感染者の対応をお願いしないといけない状況になり、国家試験前でもあったため申し訳ない気持ちもありましたが、基礎をしっかり学ばれていたため、安心して任せることができました。
向上心を持って業務に取り組む姿にこれからの活躍を期待しています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

介護の仕事は毎日楽しく、小さな喜びにたくさん出会える素敵な仕事です。一方で、命に携わる、その方の人生に関わらせてもらう重要な仕事でもあります。その中で一人でも多くの方に笑顔になっていただける、あなたに会えて良かったと言っていただけ介護職になるために、この講習を受講して基礎を学び、自信を持ってケアに当たれるように準備していただくことはとても有意義だと思います。
同じ介護の世界で働く仲間が増えることを心から歓迎します。